

## 平成 29 年度文化事業についての評価（まとめ）

平成 29 年度文化事業数	211
奈良市実施事業	7
文化施設（指定管理者等）実施事業	204

※主にイベントやプログラムを事業数として計上。市関係部局による業務推進は事業に含まない。

■ 事業評価シート対象事業について

平成 29 年度事業については、各文化施設が 3 事業ずつを評価対象にした。評価対象となる事業は、①事業費規模が大きい事業 ②事業のターゲット（対象者、参加者等）を特に定めている事業 ③施設として評価してほしい事業を施設にて選択している。

なお、評価シート作成事業以外については、各施設にヒアリングを行い、現状を把握している。

■ 事業評価シートから

「参加者数・参加率の達成度」が低い事業が多くみられる。企画内容が充実していても事業参加につながっていない、または目標値の設定が高すぎる可能性がある。

前者については、文化事業全体の広報力強化の方策を検討し、また後者については、目標値設定時に過去実績等から現実的な値を設定するよう、今後の課題として取り組みたい。

項目「市民参画・協働の成果はあったか」については、各文化施設よりどのように評価すればいいかという質問があった。ボランティア活用や地域連携を取り入れている事業については評価が分かりやすいが、それ以外においてはなにをもって「市民参画・協働」と捉えるかが分かりにくいとのことであった。文化施設における「市民参画・協働」のあり方を示す必要がある。

項目「ターゲットを意識した企画であったか」については、対象を明確にイメージして企画立案を行っている施設がある一方で、特定分野の美術館では、ターゲットを絞りすぎるにより、愛好者しか楽しめない内容になっている事業も見受けられる。愛好者が楽しめる事業はもちろん必要であるが、それぞれの芸術分野の裾野を広げるための事業も実施するべきと考える。

■ 奈良市文化振興計画について

本計画は平成 32 年度までが期間となっている。現在は例年の事業評価という位置づけで評価を行っているが、今後、本計画の総括のための評価を行う必要がある。

## 文化振興計画における各項目別 現状と課題

### ■ 市民の文化に対する意識の高揚に関すること

市民の自主的なコンサートや各種展覧会を実施している。またさまざまな分野において、文化講演会・文化講座・教室等を実施することで、市民の文化活動の活性化を促している。

<主な事業>

奈良市実施事業／なら・あーと・スペース（市役所等）

奈良市美術館／奈良市美術家展、市展なら、市民実技講座

なら 100 年会館／哲夫の仏教講座、コーラス教室

北部会館市民文化ホール／高の原文化講座、高の原カルチャーサロン

入江泰吉記念奈良市写真美術館／ワンポイントアドバイス事業

名勝大乘院庭園文化館／庭園講座・庭園研究講座、文化サロン・文化講演会

#### 【課題】

（ホール等での事業）

地域住民の文化活動発表の場となるようなコンサートや文化祭を実施しているが、イベントによってはその地域以外の人たちが楽しめない、また参加しにくい状況になることがある。施設利用についても地域優先の要望などもあり、地域とどのような関係を構築していくかが難しい。

（美術館等での事業）

奈良市美術館では、「市展なら」など、制作活動発表の場を主催事業として展開するほか、展示室の貸出により、自主的な展覧会実施を促している。奈良市美術館の自主企画は、貸館の少ない時期を中心に実施している。

（講演、講座、教室等の事業）

多くの事業に共通して課題となるのは、参加者の「固定化」と「高齢化」である。

また、年間を通じて行う教室等では、採算性の点から人気の高い分野に偏りがちであるが、行政の文化施設としてニーズの少ない分野に対し、どのように対応するかが課題である。

## ■ 芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充に関すること

ホールや美術館において、さまざまな分野のコンサートや展覧会を実施している。また、バリアフリーコンサートやファミリーコンサート等、芸術鑑賞の機会を得にくい市民が参加しやすいプログラムの実施が増えている。

＜主な事業＞

奈良市実施事業／奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」

なら100年会館／万葉オペラ・ラボ公演、バリアフリーコンサート

西部会館市民ホール／バリアフリーコンサート

ならまちセンター／篝火コンサート

奈良市美術館／奈良を観る～奈良公園の観光と美術を巡る～

杉岡華邨書道美術館／「かな作家のさまざま」展

入江泰吉記念奈良市写真美術館／本橋成一 在り処展、入江泰吉菊池寛賞受賞作品展

### 【課題】

（ホール等での事業）

芸術鑑賞の機会を得にくい市民が参加しやすいよう、親子向けコンサートなどを実施しており、多くの来場者に楽しんでいただけているが、事業趣旨により入場料を低額にしているため、経費面での困難がある。出演者の変更など、事業費の見直しを随時行っている。

（美術館等での事業）

奈良市美術館、写真美術館、書道美術館の3館があるが、学芸員が2名しかおらず、1人は写真美術館と奈良市美術館を兼務している状態であり、主催事業を行うにあたっては負担が大きい。

また現在、奈良市美術館は展示室の貸出が運営の中心であるが、今後充実した自主企画の展開が必要である。しかしながら、館長が不在であり、館のビジョンを明確にするためにも設置を検討する必要がある。

（その他）

昨年度より奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」を奈良市主催で行っている。文化施設に留まらず、市内各所、さまざまな場所でアートを展開してはいるが、事業の拠点をつくるという観点においても文化施設との連携が必要と考える。

## ■ 伝統文化の保存、普及及び継承に関すること

伝統芸能や春日若宮おん祭などの伝統行事などの魅力を伝える事業を実施。音声館でのわらべうた教室やこども邦楽教室など、若い世代が伝統文化に触れる機会を提供する事業が多い。

また、伝統文化とは異なるが、各施設で行われている落語会は参加者の満足度が高い。

<主な事業>

音声館／わらべうた教室、こども邦楽教室、こどもお茶教室

なら 100 年会館／伝統芸能こども文化祭、能楽普及事業、能楽みどころ講座、落語会

ならまちセンター／こども音祭、落語フェスタ

北部会館市民文化ホール／桂文我のおやこ寄席

入江泰吉旧居／お抹茶でひとやすみ

### 【課題】

音声館で実施しているわらべうた教室は、子どもから高齢者まで幅広く参加していただいております、世代間交流の場となっている。しかし、子ども対象の事業については、民間も含め子ども向け教室などが充実してきており、参加者確保が難しくなっている。

伝統文化においては、次世代育成が必要であるが、各事業参加者は年齢層が高い現状がある。

## ■ 文化を担う人材の育成に関すること

なら 100 年会館や北部会館市民文化ホールでは、若手音楽家の活躍の場となる事業を展開している。

また、文化施設でのボランティア育成も継続して行っている。

<主な事業>

なら 100 年会館／若手演奏家育成コンサート

北部会館市民文化ホール／明日へ輝くコンサート

奈良市実施事業／東アジア文化都市交流事業 若手芸術家・作家中韓派遣プログラム

### 【課題】

奈良市美術館では市美術家協会と連携し「奈良市美術家展」を実施しているが、年齢層が高く、若手作家の参加が多くない。若手美術家が市内で活躍しやすい環境を整えていく必要がある。

ボランティアについては、文化施設によって運営に取り入れているところもあるが、募集を行っていないところも多い。

また、市民の立場で文化事業に対する助言、サポートを行うことができる文化コーディネーターの養成についても必要性を検討していきたい。

## ■ 青少年の文化活動の支援に関すること

青少年が国際文化交流の活動を行う場として「東アジア文化創造NARAクラス」を実施した。  
美術館施設においても青少年の文化活動成果を発表する場を提供している。

<主な事業>

奈良市実施事業／青少年と創る演劇（古都祝奈良）、東アジア文化創造NARAクラス  
入江泰吉記念奈良市写真美術館／高等学校総合文化祭 写真部門展・選考写真展  
奈良市美術館／新春造形まつり 奈良市児童生徒作品展

### 【課題】

美術館系の施設において学校と連携し事業を行っているが、展示会場の提供が主であり、企画への関与は大きくない。

奈良市主催事業の「東アジア文化創造NARAクラス」では、海外に興味はあるが、国際文化交流の機会が少ない大学生や高校生に対して、交流機会を提供しているが、費用に対する効果が見えにくく、参加学生に対し数年後にモニタリングを行うなど、効果測定の方法が必要である。

---

## ■ 学校教育における文化活動の支援に関すること

音声館では、幼稚園を中心にわらべうた指導者が出張し、生徒や児童、園児やその保護者、教員等へわらべうたを教える指導者派遣事業を行った。

また、なら 100 年会館では小学校や近隣の保育園へのアウトリーチ事業などを実施している。

<主な事業>

音声館／わらべうた教室（指導者派遣）  
なら 100 年会館／アウトリーチ事業

### 【課題】

なら 100 年会館や音声館などではアウトリーチや施設外での教室活動などを実施している施設はあるが、それ以外の施設については、意識はあるものの実施にはいたっていないところが多い。

## ■ 子どもたちの情操を高める文化環境の整備に関すること

上述のファミリーコンサートをはじめ、小さな子ども連れでも参加できるコンサート等の実施。

また、入江泰吉記念奈良市写真美術館の高畑探検隊や北部会館市民文化ホールの恐竜教室、ならまちセンターバックステージツアー×謎解きラリーなど、参加者体験型のプログラムも実施した。

<主な事業>

なら 100 年会館／親子で楽しむよちよちコンサート

北部会館市民文化ホール／夏休み恐竜教室、キッズスペシャルコンサート

奈良市美術館／親と子のやさしいアート体験

ならまちセンター／バックステージツアー×謎解きラリー

入江泰吉記念奈良市写真美術館／高畑探検隊 15

入江泰吉旧居／夏休み親子ピンホールカメラ教室（全 2 回）／ピンホールカメラ体験（全 1 回）

### 【課題】

各施設において子ども向けの事業は積極的に企画しており、特に夏休み時期などは定員を超える事業もある。一方で、奈良市美術館の市民実技講座のように、子どもの参加者が集まりにくいものもある。広報面などを工夫し、子どもたちが利用する図書館なども含め、施設間を横断して参加できるようにする必要がある。

## ■ 文化に係る交流の促進に関すること

音声館のわらべうた教室のような世代間交流を図ることができる事業や、ならまちセンターのベルサイユ・ジャン・フィリップ・ラモー少年少女合唱団公演など友好・姉妹都市等との文化交流を図る事業などを展開した。

<主な事業>

音声館／わらべうた教室

北部会館市民文化ホール／ニュータウンフェスタかのはら、平城ニュータウン文化祭

ならまちセンター／ベルサイユ・ジャン・フィリップ・ラモー少年少女合唱団公演

奈良市実施事業／東アジア文化都市交流事業

### 【課題】

特に世代間交流を意識した事業は少ないと感じられる。また、文化団体同士が交流を深めることができるような仕組みがなく、各団体が他団体と交流を重ねることで活動を発展させることができる土壌を整えていく必要がある。